
空手部の日常

ニッペマン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空手部の日常

【ZPDF】

N2157BA

【作者名】

二ツペマン

【あらすじ】

空手部シリーズとは、「Babylon Stage 27『誘惑のラビリンス』第三章『空手部・性の裏技』」に登場する、空手部トリオの日常を描いた作品である。

「めを食べ行への巻（前書き）

大先輩でも分かる、名前の読み方講座。TDKR（田所）、MUR（三浦）、KMR（木村）、？？？（特別ゲスト）

「めんを食べに行くの巻」

チャイムくん「キーンゴーンカーンゴーンー（迫真）」

学校屋上

TDKR「MURさん夜中腹減んないですか？」

MUR「減らねーなー」

TDKR「じゃけん、夜ラーメン食いにこきましうね～」

道中

TDKR「ぬわあああんもうつかれたもおおん」

MUR「ちかれた・・・（小声）」

KMR「まだ30mしか歩いてませんよ」

MUR「ラーメン屋までどのくらいかかるんだ？」

TDKR「3時間くらい（適当）」

MUR「おっ、そうか」

数分後

MUR「おいTDKRオー全然つかないじゃねーか（憤怒）」

TDKR「あれーおつかしいなー」

KMR「先輩、もしかして道に迷つたんですか？」

TDKR「ま、多少はね？」

数分後

MUR「もうすっげーつかれたゾー」

KMR「諦めて帰りましょーよ

TDKR「なんだよ2人ともだらしねえなー」

MUR KMR「・・・（マジギレ）」

MUR「おいKMRア、羽交い絞めにしむ」

KMR「は」

「（なにやつてんだあこいつらへ）俺も仲間ここれで」

キキー！-ジンドー-（迫真）

「誰か轢こづけたよ、やべえよせんべいよじつある・・・？」

TDKR「えつ？-えつ？-ミコマヤ、ミコマヤを勘弁してやだがこ

ー」

MUR「じゃあ（腹）ぶしき込んでやれー（震え声）」

TDKR「ンアツー-」

TDKRはミコマヤボコボコヒカルて終

メダリンクをするの巻

TDKR「うちさあ、メダリンクあるんだけじゃってかない？」

MUR「やりてーなー」

TDKR「じゃけん、後で家に寄りましょうね～

野獣邸

TDKR「あがつて、どうだ」

MUR KMR「お邪魔しまーす」

TDKR「飲み物持つてくるから、適当に座つてまつてて」

KMR「はい」

MUR「おっ、ベットの下にエロ本あつたゾ～」

KMR「MURさん勝手にイジっちゃまずいですよ

MUR「そうだな（素直）」

TDKR「おまたせ！麦茶しかなかつたけどいいかな

KMR「いただきます」

TDKR「それじゃはじめよっか

メダリンク接続

KMR「先輩達のメダロットってどんなのですか？」

MUR「ポッチャマ」

TDKR「射撃タイプ（大嘘）」

KMR「それじゃあ僕はサポート型にしますね」

TDKR「じゃあさ、ちょっと相手検索するから

MUR「おっ、見つかったみたいだな」

KMR「相手はTDN DB HTNつて人達ですね」

TDKR「犬型とホッケ型と幽霊型か～これもう勝てるかわからんねえな」

ロボトル開始

MUR「よーしぶち込んでやるぜ～」ねらいつち攻撃 レーザー

→→HTN「ウイヒ～」回避

TDKR「ほらいくど～」がむしゃら攻撃 ソード>>>TDN「アツー！」右腕破壊 脚部に貫通

KMR「MURさん、いきなりレーザーは当たりませんよ」索敵行動 レーダー

TDN「オフシ！」選択したパーティは破壊されている

DB「ヴォー」うつ攻撃 ライフル>>>TDKR「ファツ！？」

クリティカル 頭部破壊 機能停止

HTN「ウイーヒ！」隠蔽行動 ステルス

MUR「ちかれた・・・」ねらいうち攻撃 レーザー>>>TDN

「アツアツ・・・」脚部破壊 頭部に貫通 頭部破壊 機能停止

ロボトル終了

MUR「楽しかったゾ～（ご満悦）」

KMR「先輩をリーダー機にしなくてよかったですね」

TDKR「あつ、KMRさ、俺がパーティ手に入れた時チラチラみてたよな？欲しけりややるよ」

KMR「ありがとうございます」

三人は立教トリオに勝利して終了

釣りをするの巻

チャイムくん「キーンゴーンカーンゴーン（迫真）」

12:00 学校屋上

TDKR「フウー つかれましたね」

MUR「腹減つたな」

KMR「昼食にしましょう」

MUR「KMRア！ 今日はなんだ？」

KMR「おにぎり三種とウインナーと玉子焼きですよ」

TDKR「おっ、うますうづじやーん。1個いただき」

KMR「先輩、行儀悪いですよ」

TDKR「硬いこというなよ」（モグモグ）

「そんなこんなでご飯を食べ始める3人」

KMR「MURさん、さつきからなに見てるんですか？」

MUR「ん？ これが、道に落ちてたんだよ」

「そう言つて一冊の雑誌をKMRに差し出す

KMR「月間、釣りロマン爺ですか」

MUR「そうだよ、おれも釣りしてえな」

KMR「僕も釣りした事ないんで、興味ありますね」

TDKR「うちにい、釣り道具あるんすけど、夜いきますっ？」

MUR「おっ！ いきてえな」

TDKR「じゃけん、後でいきましちゃうね」

20:00 釣り場

MUR「暗いな、おいKMRア！ 足元に気をつけろよ（アドバイス）

KMR「はい」

TDKR「竿が2本しかなかつたけどいいかな？」

KMR「僕は魚アレルギーなので（大嘘）、MURさんどうぞ

MUR「おっ、さうか？よーし釣つてやるぜ～」

「釣りを始めてしばらく沈黙する3人、すると遠くで争うような声が聞こえてくる

「？？？「やだ！やだ！小生やだ！ライダー助けて！」

「？？？「誰が大声出していいつつたコラアー！飛び込めよ早くオラア！（腹ライダー・キック）」

「ザッバーン！（迫真）

「？？？「溺れる！溺れる！」

MUR「おっ、引いてるゾ～」

KMR「わあ、MURさん、がんばってください」

MUR「これは大物だゾ～」

「ザッバーン！（迫真）

KMR「針が引っかかるってただけでしたね」

MUR「ポツチャマ・・・」

「落ち込むMURを尻目に、今度はTDKRに引きが

TDKR「あーいいよいよいよいよ。大物きてる、はつきりわかんだね」

KMR「MURさん、落ち込んでる場合じゃないですよ。かなりの大物みたいですよ！」

MUR「おっ！TDKRオ、がんばれよ～」

TDKR「（魚）暴れんな！暴れんなよ！」

TDKR「引きスギイ！（竿が）イクイクイクイク！ンアツー！！！」

「ザッバーン！（迫真）

「？？？「ゲホッ！ゲホッ！オエッ！オエッ！ハッハッハッ・・・（

過呼吸）」

TDKR「デデドン！（驚愕）」

KMR「小学生・・・？、にしては老けてますね」

MUR「海坊主が釣れたな～（～満悦）」

3人は人命救助して終了

バイトするの巻 ファミレス編

学校屋上

KMR「TDKR先輩、また遅刻ですね」

MUR「そうだな」

KMR「予想だと、そろそろ来る頃だと思います」

TDKR「KMRの予想通り到着するTDKR」

TDKR「また遅刻しちゃいましたよ～」

KMR「これで893日連続遅刻ですね」

MUR「遅刻大会があれば、優勝だな」

TDKR「ところでMURさん、金欲しくないですか？」

MUR「ほしいな～」

TDKR「ですよね、いいバイトあるんだけど、いかない？」

KMR「ホモビ男優とかじゃないですよね？」

TDKR「ち、ちがうよ、KMRのバカ！、あれだよ、あの、そうだ、ファミレスのバイト」

KMR「ファミレスですか・・・」

MUR「簡単そうだな、やるか～」

TDKR「じゃけん、店長に連絡しどくんで、後でいきましょうね

」

ファミレス

TDKR「この2人が連絡しといたMURさんとKMRです」

MUR「KMR、よろしくお願いします」

店長「おう、よくきたな、早速着替えるんだよ、早くしりよ

更衣室

KMR「僕達はなんの仕事をするんですかね？」

TDKR「KMRが厨房で、MURさんがロビーで接客」

MUR「お、そうか」

KMR「厨房ですか・・・。料理覚えといてよかつた

TDKR「やいじや 2人ともがんばってね
～そう告げると去つていいくTDKR～

KMR「TDKR先輩どこいったなんですかね？」

MUR「さあな、仕事するぞ」

～それぞれが持ち場に就く～

厨房

おじさん「なにトロトロやつてんだオラア～（もぐもぐ）」

KMR「は、はい！ すいません」

おじさん「オラア～もつとスピード上げる～（ゴクゴク）」

KMR「は、はい！ すいません」

店員Y「おい！ お前なにやつてんだ！」

KMR「えつ～えつ～」

おじさん「やべ（全力逃走）」

店員Y「またあのおじさんかあ・・・壊れるなあ

KMR「今のおじさん、従業員じゃないんですか？」

店員Y「彼ね、よく忍び込んで勝手に飲み食いしてんだよ」

KMR「えつ、それは（ドン引き）」

その頃ロビーのMURは

店員K「それじゃ、手本見せるから」

MUR「おつ」

店員K「お客様、ご注文はお決まりでしょうか？」

客「ぼくひで」

店員K「かしごまつー！」

店員K「次は君がやつてみよっか」

MUR「おつ」

MUR「お客様、ご注文はお決まりでしょうか？」

客「ねねねね～、なんかオススメつてある？」

MUR「ライス」

客「じゃあ、スープカリで」

MUR - かしこまり!

注文を厨房のKMに伝えます

KMR「はい、うるさいで！」

～仕事を順調に終えた2人は給

店長「おう、2人とも」苦労さん、帰つていいぞ」

「KMR-1がよこしてくたわしよ！給料は？」
ミリ「さういふ（便護）

局長 なは言つてから、絆料ならハタが如は漏しておいたそ

タマジギ (ギザギタ) !

MUR - これはゆるせねえな、 そうだろKMRア?「

日記

イシタ=ホシケル「ビンボニシ!!」(由貴)

妹「はーい、どうひらめ?」

ＫＭＲ—ＫＭＲです、お兄さん帰ってきてる？」

、娘ニア部屋で夕メヤでる。人で、おおき

ミーティング（ノック音）

תדריך ג'זען - ג'זען

に破裂する

「おれの妹ひがや一葉（二年）」

KMR「ふぞけんじやねえぞ、オラアー（腹5連釘パンチ）」

TDKR「ンアツ！ンアツ！ンアツ！ンアツ！ンアツ！ンアツ！-----！」

(氣絶)」

MUR「オラオラ、おねんねするには早いゾ（顔パン）」

TDKR「ぬわあああん勘弁してくださこよおおおおん」
YJ妹「おいらおらしねしねーー。（金玉パン）」

TDKR「フアツー？（絶命）」

「どうぐさに紛れて参加するYJ妹」

KMR「容赦ないな・・・」

MUR「ポッチャマ・・・（恐怖）」

YJ妹「つこやつこやつたけど、ま、ここよね」

TDKRは妹に「アドメをされたて終了」

デパートへ行くの巻

チャイムくん「キーンゴーンカーンゴーン! (迫真)」

12:00 学校屋上

TDKR「ぬわあああんつかれたもおおん
「

KMR「はいはい

MUR「おう、昼飯食おうぜ」

TDKR「ブシコツ! ゴクツ! ゴクツ! プハツー」

KMR「先輩、学校にビールもつてこないでくださいよ
「

TDKR「堅いこというなよ~ (「ク「ク)」

MUR「おい、KMRア! (唐突) 今日の弁当はなんだ?」

KMR「MURさんの好きな、から揚げです」

MUR「いいゾ~これ (「満悦)」

TDKR「から揚げとビール合いスギイ!」

KMR「外で飲み食いするつてのがまたいいですよね
「

MUR「KMRもわかつてきただじやねえか~」

TDKR「あ、そうだ(唐突) 帰りに育毛剤買いに行くんだけど、
2人もこない?」

KMR「特に予定もないですし、いいですよ

MUR「そうだな(便乗)」

TDKR「じゃけん、帰り寄りましょ~ね~」

19:00 デパート

KMR「育毛剤は医薬品コーナーですかね」

MUR「ついでにガムも買つてくか

~医薬品コーナーでガムと育毛剤を購入する~

KMR「そうだ、今日はジャンプの発売日ですよ

MUR「おっ、忘れてたな

KMR「本屋寄つてきましょ~

~本屋に到着して、しばらく立ち読みをする3人~

KMR「そろそろ、お腹空きましたね」

MUR「そうだな」

TDKR「あ、MURさん、なんかあ地下に、タダで飯が食える所があるらしいですよ」

MUR「タダで食えるのか?ならいきてえな」

TDKR「じゃけん、いきましょうねー」

19:30 テパ地下

TDKR「い　い　」

KMR「さすがに活氣がありますね」

MUR「おまえら、こっちきてみろ! ウインナー食い放題だゾー」

TDKR「MURさん! こっちにはビールありますよ」

MUR「テパ地下にはなんでもあるな」

KMR「2人共、その辺にしといたほうが・・・」

TDKR「なにいってんだよKMR、お前も食うんだよ」

TDKRも試食コーナーを食い荒らし始める

? ? ? 「お客さん、そろそろ買ってください、オナシャヤス!」

TDKR「まだ味がよくわからないんだよね、もひすりょつと飲ませて」

? ? ? 「食つてばっかいないで買えよオラアー!」

MUR「お兄さん、これすつげーうまいゾー」

? ? ? 「お兄さん?君なかなか見所あるねー(「満悦」もつと食べ

ていいよ」

KMR「これ美味しいな・・・。店員さん、これいくりですか?」

? ? ? 「30本(一袋)で5万!」

KMR「1? 5万!?(ブリュリュ・ビチュバチュ・)

「驚きのあまり、スープカリーを量産するKMR」

KMR「ああ・・・ト、トイレ・・・」

「トイレに向かうKMR。そこへ戻つてくる2人」

MUR「あれ? KMRどーいった?」

T D K R 「店員さん、K M R しらない?」

？？？「KMRって人かわからぬけど、ワーッってトイレに向

「リハ「一応、なんとかなったね」

「やめ、我じりたがつたんすよ、

ストイレ

MUR おーい KMR ア！ いるか？

TDKR 「俺が

てくださいよ

MUR おう、まかせたぞ

21:00 男子トイレ内

卷之三

□
□
□
-

KMR「せ、先輩！良いところにきてくれました」

TDKR - おやじた=?(シラコロロロロロ)

總力方に生捕一さ一テ死んでゐる方

卷之二十一

TDKR「じょうがねえな、ちょっとまつてて（ジヨロロロロロロ

5

小便を済ませ夕にてる

セイヨウノアツメイセイヨウノアツメイ

「探索する事1時間」

22:00 ペットパーク

TDKR 「MURさん、こんなとこにいたんすか」

MUR「お、TDKRオ、お前も見てみるよ、かわいいゾー」

TDKR「なんかもう疲れちゃったし、そろそろ帰りましょウよ」

MUR「やうだなー、そつするか」

22:10 デパート前

TDKR「いやー、今日はいい買い物しましたね」

MUR「タダで飯も食べたしなー」

TDKR「そいじゃ、MURさんまた明日」

MUR「おー、氣をつけて帰れよ」

（同時刻）

KMR「おーい・・・」

KMRはトイレで孤立して終了

聖夜の裏技

12月24日

TDKR「MURさん、夜中、海いきたくないですか?」
MUR「いきたくねーなー」

TDKR「じゃけん、明日こきましょつね~」
KMR「明日は用事があるので、僕は遠慮しちゃいます」

MUR「俺も明日はいけないな(便乗)」

TDKR「デデドン!(绝望)」

畠田 とある屋台

TDKR「おやじ、ビール!ビール!」

糞親父「クリスマスだつてのに、あんちゃん一人か?」

TDKR「皆予定があるとか言ってましたよ グビッグビッグ」

糞親父「そんじゃ、後ろにいる2人はどちらさんだ?」

TDKR「ヌツ?」

「そつと振り返る

MUR KMR「メリークリスマス!」

TDKR「ファツ!?」

「驚いて口から色々飛び出す

KMR「先輩、汚いつす」

MUR「おやじ、俺にもビール!」

糞親父「あいよ」

TDKR「2人とも予定があつたんじゃ?」

KMR「日にちを間違えました」

MUR「俺もそんなところだ(便乗)」

「日本酒が運ばれてくる

MUR「ん~?おやじ!頼んだのはビールだぞ!」

糞親父「そいつあワシのおじりだ」

MUR「お~、そうかー(満悦) 今日はと1とん飲むゾ~

KMR「僕も付き合いますよ」

TDKR「アオン！オオン！（号泣）」

3人は朝まで飲み明かして終了

聖夜の裏技（後書き）

先輩！これ去年のクリスマスネタですよ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2157ba/>

空手部の日常

2012年1月5日19時51分発行